

防災対策費の記載例となります。中小企業者のみ補助対象となります。

再建計画書

応募者名称※1：自治体連携型株式会社

<応募者の概要> ※採択時に「事業者名称」、「補助事業で行う事業名」等が一般公表されます。

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------------|--------------|---|---|----------------------------------|------------|-----------------|---|------------------|------------|---|---|---|---|---|
| (フリガナ) 名称(商号または屋号)※1 | | ジチタイレンケイガタカブシキガイシャ 自治体連携型株式会社 | | | | | | | | | | | | |
| 法人番号(13桁)※2 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 0 | 1 | 2 | 3 |
| 自社ホームページのURL (ホームページが無い場合は「なし」と記載) | | http://www.xxxx.co.jp | | | | | | | | | | | | |
| 主たる業種※3 | | 【以下のいずれか一つを選択してください】 ① () 商業・サービス業(宿泊業・娯楽業を除く) ② () サービス業のうち宿泊業・娯楽業 ③ (<input type="radio"/>) 製造業その他 | | | | | | | | | | | | |
| 常時使用する従業員数※4 | | 50人 | | * 常時使用する従業員がいなければ、「0人」と記載してください。 | | | | | | | | | | |
| 資本金額 (個人事業者は記載不要) | | 1000万円 | | | | 設立年月日(西暦) ※5 | | | 1990年7月23日 | | | | | |
| 連絡担当者 | (フリガナ) 氏名 | フクシマ ジロウ 福島 次郎 | | | 役職 | | | 専務取締役 | | | | | | |
| | 住所 | (〒123-4567) 南相馬市原町区〇〇町〇-〇 | | | | | | | | | | | | |
| | 電話番号 | 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 | | | 携帯電話番号 | | | 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 | | | | | | |
| | FAX番号 | 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 | | | E-mailアドレス | | | 〇〇〇〇〇〇@XXX.ne.jp | | | | | | |

※再建計画書の作成にあたっては商工会・商工会議所・中央会と相談し、助言等を得ながら進めることができます。

<計画の内容(事業再建に向けた取組)>

1. 事業概要(自社の概要や市場動向、経営方針等を記載ください)

【企業概要】

設立 : 平成2年7月
業種 : 生菓子製造業
立地 : 南相馬市原町区〇〇町(国道〇線沿いに位置する)
従業員 : 50名
店舗 : 本社兼工場に加え、県内に7店舗展開

弊社は平成2年7月の創業以来、和洋生菓子を製造・販売している。特に「原町チョコレートケーキ」は地元の特産となっており、自社経営7店舗でも人気No.1商品であり、10都県にも出荷している。平成30年には〇〇社主催の全日本お菓子セレクションで金賞を受賞するなど高い評価を得ている。

【外部環境】

- ・消費者の健康志向から高カロリーの甘いお菓子は好まれず、昔ながらのお菓子屋さんには苦戦している状況。低カロリー・低GIの甘くないお菓子などを製造販売する店舗が新規参入してきている。
- ・海外の高級お菓子を地方店舗でも取り扱い、インターネットで簡単に注文できるようになったことから、競争は激化している。
- ・パンケーキやタピオカミルクティーのブームにより、従来の顧客が流れている傾向がある。

【内部環境】

- ・弊社代表（55歳）はイタリアローマ・スペインバルセロナで修行経験があるパティシエであり、南相馬、東京・仙台で料理教室も行っている。雑誌やテレビにも出演歴があり、全国お菓子評議委員も務めている。
- ・チョコレートはベルギーから輸入し、卵や野菜、果物は地元産を使用するなど、世界一の素材と地元産を融合した商品開発を行っている。
- ・従業員は全国各地から弊社でケーキ作りを学びたいと集まっており、業界をリードする人材の育成にも力を入れている。
- ・また年間休暇125日に加え各種手当、海外研修制度などを取り入れ、〇〇社調査のホワイト企業に認定されるなど、同業界で日本一社員が働きやすい会社を目指している。

【経営方針】

「南相馬から日本一お客様に喜ばれるお菓子を作る」ことを経営方針としている。お客様からの声・従業員からの提案を直接社長へ伝える機会を設けるなど、お客様と従業員を最も大切にする企業であり続けることに努めている。

2. 被災の状況（被災の状況、自社を取り巻く環境を記載ください）

- ・弊社工場近郊に流れる河川が氾濫、本社兼工場に浸水被害はなかったものの、低い位置にあったキュービクル式高圧受電設備に浸水被害があり修繕を余儀なくされた。従業員は事前に全て避難をさせていたため、従業員家族も含めて被害がなかったことが不幸中の幸いだった。（被害額1000万円程度）
- ・また災害の1週間後に営業を再開し、現時点では生産販売は従来に戻りつつある状況である。
- ・取引先は減少していないものの、生産量と販売量の減少から、対前年10～11月同月比売上15%減少（約200万円/月の減少）している。

3. 今回の申請計画で取り組む内容

【事業名：30文字以内で記載】

事業継続のための防災対策事業

【計画内容】（上記1.2.を踏まえて、事業再建の取組を記載ください）

キュービクル式高圧受電設備の修繕を実施し、従来どおりの生産体制に戻す。そして次の災害に備えるため社内でBCPを策定し、復旧したキュービクル式高圧受電設備も今後の浸水被害に備え60cmのコンクリートの土台をつくるかさ上げを実施する。

【取り組み事業概要】

①現状復帰事業

キュービクル式高圧受電設備については、加入していた保険とグループ補助金でまかなうことができたため修繕を実施し、従来どおりの生産体制に戻りつつある。売上減少への補填と、先行して発生する経費支払いに関してはメインBKである〇〇銀行からの融資によって対応する。

写真、データがありましたら添付して
説明をお願いします。

②事業継続のための防災対策事業

損害保険会社のアドバイスを元にBCPを策定する。キュービクル式高圧受電設備に60cmのコンクリートの土台をつくるかさ上げ工事を実施。土台が完成次第、復旧したキュービクル式高圧受電設備を自己負担で移設をする。

4. 事業再建に向けた取組の中で、本補助金が経営上にもたらす効果

キュービクル式高圧受電設備の修繕を実施し、従来どおりの生産体制に戻りつつあり、社内体制を早期に確立する。またBCPを策定し、キュービクル式高圧受電設備のかさ上げを実施することで、今後の災害に備える。取引先やお客様へも防災対策を実施したことを広くPRし、災害に強い企業をアピールしたいと考えている。

以上の取り組みから、台風被害により減少した売上を早期に回復させ、お客様と社員を守り、地元の名産を製造することで福島復興を国内外にPRしていく。

補助対象外経費の計上や、補助金計算額に誤りがないようにご注意ください。

以下の例にならない、経費区分だけではなく、それぞれの経費区分名の前に経費区分番号①～⑦を記入してください。

課税事業者は「税抜」、その他の方は「税込」を囲み、対象経費を記入します。

<支出経費明細等>

| 経費区分 | 内容・必要理由 | 経費内訳 (単価×個数・回数等) | 補助対象経費 (単位:円) (税抜・ <u>税込</u>) |
|-----------------------------------|--------------------|---------------------|-----------------------------------|
| ⑦防災対策費 | キュービクル式高圧受電設備のかさ上げ | 2,700,000円 | 2,700,000 |
| (1) 補助対象経費合計 | | | 2,700,000 |
| (2) 補助金交付申請額 (1)×補助率2/3以内(円未満切捨て) | | | 1,800,000 |

<補助対象経費の調達一覧>

| 区分 | 金額(円) | 資金調達先 |
|-----------------|-----------|-------|
| 1. 自己資金 | 400,000 | |
| 2. 補助金額 (※①) | 1,800,000 | |
| 3. 金融機関からの借入金 | 500,000 | 〇〇銀行 |
| 4. その他 | 0 | |
| 5. 合計額 (※②) | 2,700,000 | |

<「2. 補助金」相当額の手当方法>(※③)

| 区分 | 金額(円) | 資金調達先 |
|-----------------|-----------|-------|
| 2-1. 自己資金 | 800,000 | |
| 2-2. 金融機関からの借入金 | 1,000,000 | 〇〇銀行 |
| 2-3. その他 | 0 | |